

甲 表

提出 令和 8 年 8 月 27 日



一 般 質 問 通 告 書

☐一括方式☒一問一答方式質問
順番

10

東海村議会議長 吉田 充宏 様

議席番号 6 番 議員氏名 大名 美恵子

質問事項 (件名)	来年度の国保税は引上げ無しに	答弁者
要旨（具体的に） 今年度創設された子ども・子育て支援金制度は、国保税に上乗せ徴収となるため、今年度に続き来年度も国保税の引上げが見込まれる。住民の懸念としては併せて県が進める国保の県域化対応による本体分の引上げがある。特に物価高騰等の収束が見えない中、被保険者が安心して医療を受けられることを念頭に、来年度の国保税は引上げ無しとする村の対応が求められているが、見通しを問う。		

質問事項 (件名)	村道の維持・管理について	答弁者
要旨（具体的に） 村道の安全安心利用のために村としての管理計画等があると考えますが、安全上対処した方が良いのではと判断される損傷等について、長期間そのままになっている箇所が見られる。点検及び必要な対処についてはどのような計画になっているか問う。		

質問事項 (件名)	太陽光発電設備設置への対応について	答弁者
要旨（具体的に） 村内には、一つの民間事業者が複数の太陽光発電設備を多数設置している。2020 年 3 月制定の「東海村太陽光発電設備の適正な設置、管理等に関する条例」に基づく対応と思われる、事業者による住民への説明会開催や説明資料の配布等が行われている。設置許可権は本村には無いと認識するが、案件が発生した場合の村の対応の現状について問う。		

乙 表

氏 名	大名 美恵子	No.	2
-----	--------	-----	---

質問事項 (件名)	原子力科学研究所における火災について	答弁者
要旨（具体的に） 原子力科学研究所では、今年２月以降、短期間に５件の火災が発生した。公開された６月１９日発生の特 Tandem 加速器建屋における火災の写真は、原子力事業所内で発生するなどあってはならないと、住民に恐怖を伝えている。こうした状況の村の受け止めについては発出された嚴重注意から一定の理解はするが、立地自治体としては、村内に立地する原子力事業所の中では最古であることや、原子力研究所という組織が２００５年１０月に核燃料サイクル開発機構と統合されたことの影響等の視点も必要と考える。 改めて、今年２月に２件、４月に１件、６月に２件の火災発生という重大事案についての受け止めを問う。		

質問事項 (件名)	東海第二原発の再稼働是非判断に係る住民の 意向把握について	答弁者
要旨（具体的に） 東海第二原発の安全性向上対策工事は、取水口防潮堤の施工不良が発覚したことを受け、原子力規制委員会の審査が続いている。この時期、村として再稼働是非判断に係る住民の意向把握を丁寧に進めることが可能になっていると認識するが、村長として住民の意向把握についてはこれまでどのような手段によりどの程度把握されているのか、また、今後の把握作業はどう進めるのか問う。		